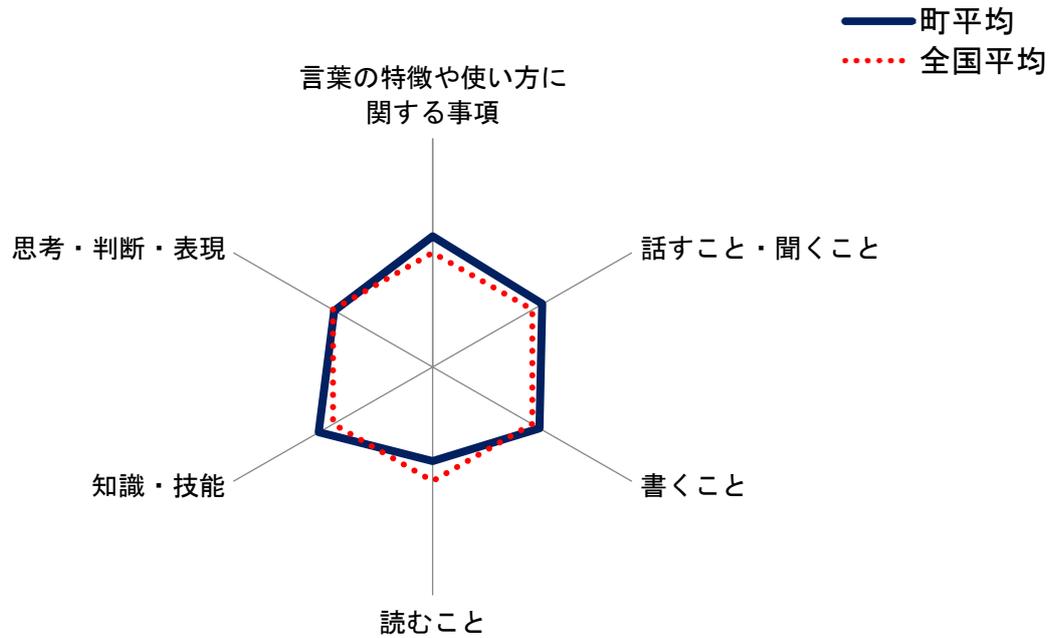
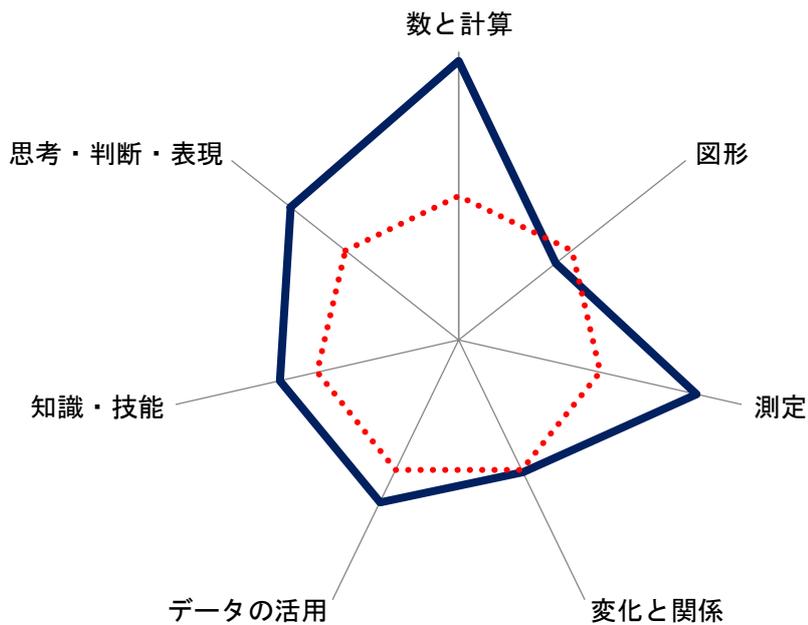


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

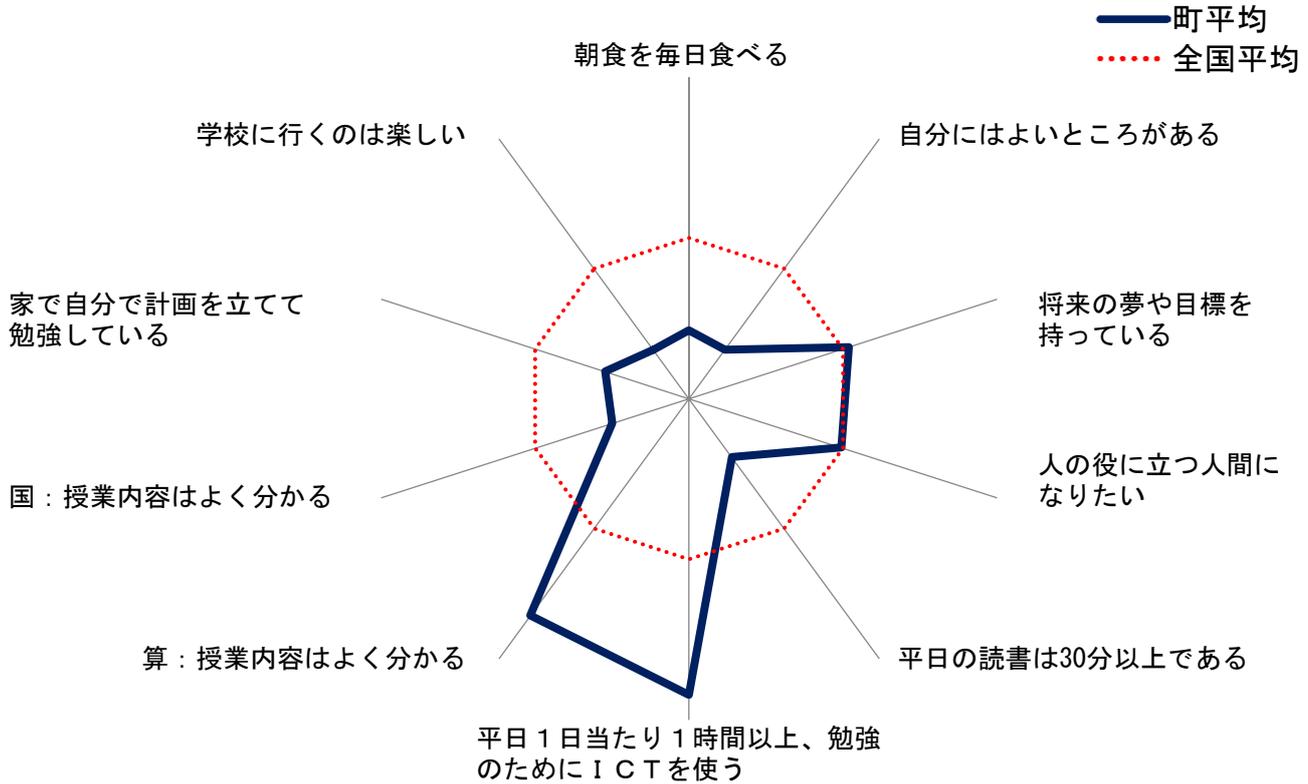
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数ともに全国平均を上回っており、結果は良好である。特に算数の「数と計算」「測定」の項目において、全国平均を大きく上回り、極めて良好な結果である。一方、国語の「読むこと」、算数の「図形」の項目は全国平均を下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後、児童一人一人の結果を詳細に分析し、実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「平日1日当たり1時間以上、勉強のためにICTを使う」「算数の授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく上回っており、ICTを積極的に活用した授業改善の成果がうかがえる。一方、「学校に行くのは楽しい」「自分にはよいところがある」の項目は全国平均を大きく下回っており、コミュニティスクールの仕組みを生かしたふるさと学習等により、学校、家庭、地域が一体となり、自己肯定感を育む教育活動をより一層推進することが望まれる。